

Day 1

3/14 (土)



8:50-9:00 開会

9:00-9:40 山田真寛

- 危機言語プロジェクト第5期の計画

9:40-10:20 エイデン・コールマン

- 琉球沖永良部語上平川（ひょー）方言の動詞の形態音韻論

10:30-11:10 スコットディクレメンテ・マルコ

- 鹿児島県南九州市頰娃町方言における語幹末内破音の音韻解釈

11:10-11:50 モンソン・マックス

- 津軽方言におけるモーラと音節についての再検討

11:50-12:30 廣澤尚之

- 宮崎県椎葉村尾前方言の韻律について

13:30-14:10 松倉昂平 & 米村雪乃

- 北陸諸方言における主格形式ア・ナの機能と成り立ち

14:10-14:50 高城隆一

- 富山方言の存在動詞についての初期報告

15:00-15:40 安元悠子

- 沖縄語継承の現場にみる言語使用の多層性—小規模学習会における習熟度・談話活動・役割意識の相互作用

15:40-16:20 西郷太一

- 新島方言ドキュメンテーションのこれまでとこれから—協働体制の構築に向けて

16:30-18:00 下地理則

- 談話資料公開ワークショップ

令和7年度第二回 合同研究発表会 「危機言語の保存と日琉諸語のプロソディ」



詳細はこちら:

<https://kikigengo.ninjal.ac.jp/event/>

問い合わせ:

acoleman@ninjal.ac.jp

日時: 2026年3月14日 (土) 8:50-18:00

3月15日 (日) 9:00-19:00

場所: 国立国語研究所 多目的室 (2階)

実施形態: ハイブリッド方式

(対面 & Zoomオンライン)

Day 2

3/15 (日)



9:00-9:40 尹熙洙

- 個別語彙の航跡に映る琉球諸語史の像

9:40-10:20 下地賀代子&セリック・ケナン

- 南琉球諸語における多良間方言の位置づけ

10:20-11:00 松森晶子

- 八重山諸島の韻律体系と音節構造の変化について

11:10-11:50 田窪行則

- 岡山方言の文末表現の長母音化について—岡山県玉野市の方言を中心に

11:50-12:30 谷口ジョイ

- 静岡市北部・井川方言における可能表現

13:30-14:10 新永悠人

- 奄美大島湯湾方言のアクセントの拍と音節の役割を定量的に検証する

14:10-14:50 荻野千砂子

- 南琉球語・八重山地方に見られる視点移動型の指示詞体系

15:00-15:40 サルバトーレ・カルリノ

- 日琉諸語の手法を表す指示語の形成

16:00-19:00

- ディスカッション



「危機言語の保存と日琉諸語のプロソディ」

令和7年度第二回 合同研究発表会



詳細はこちら:

<https://kikigengo.ninjal.ac.jp/event/>

問い合わせ:

acoleman@ninjal.ac.jp

日時: 2026年3月14日 (土) 8:50-18:00

3月15日 (日) 9:00-19:00

場所: 国立国語研究所 多目的室 (2階)

実施形態: ハイブリッド方式

(対面&Zoomオンライン)